

はるかぜ新聞

平成 30 年 3 月発行 第 132 号

一時的に大雪だった北陸地方ですが、暖かい日も続き、雪もすっかりなくなりました。
3 月は、新しい環境の始まりの分岐点です。不安と期待が入り混じり、ぎこちない笑顔になっていませんか？“大丈夫！！一人じゃない。仲間がいるよ”とエールを送ります。



特養はるかぜでは、100 歳の誕生日を迎えられた方が 3 名。同じ年に多数の方のお祝いをするのは開所以来初めてのことで、皆さんお年を感じさせない程元気にお過ごしです。ささやかですが、職員が心をこめてお祝いをしました。

百歳のお祝い H30. 3. 3



個々の関わりの中で、その人らしい部分を引き出すには、日々のコミュニケーションが大事です。



「ごちゃ混ぜ居場所ぶっちゃけトーク」 H30. 3. 4 (日) はるかぜデイにて

- 第 1 部：コスガ聡一氏
「教科書に載らない認知症カフェのはなし」
- 第 2 部：「ごちゃませ」居場所 V S 認知症カフェ



全国の認知症カフェ取材しているフォトジャーナリスト・コスガ氏による全国の認知症カフェの話。肩肘張らず和気あいあいと悩み等話せる居場所が全国にいるんな形で展開しています。
第 2 部では、高齢者から障害者、ニート、DV、薬物依存症等の方の“居場所”を作っている代表者のぶっちゃけトーク。
誰もが住みやすい街づくりの為、それぞれが様々な形で支援しています。
利用者が作ったパンの販売もあり、充実した時間でした。特養はるかぜも関わらせて頂き、高齢者だけでなく誰もが住みやすい街づくりは、一人ひとりが考えていかなければならないと思いました。

